

# 【 外来生物法のしくみ 】

## 外来生物法とは

正式には「**特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律**」といい、特定外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止することを目的としています。

## 特定外来生物とは

もともと日本にいなかった外来種のうち、生態系などに被害を及ぼすものについて特定外来生物として指定し、**飼育・栽培・保管・運搬・輸入、販売・譲渡、放出**などを原則として禁止しています。



カミツキガメ

## 飼養等の許可

学術研究などの目的で、適正に管理することができる施設を有している場合については、**主務大臣の許可**を得ることで、特定外来生物の飼育・栽培・保管・運搬、輸入などをすることができます。

## 未判定外来生物とは

特定外来生物と近縁の生物で、生態系などに被害を及ぼすかどうか未判定である生物のことで、輸入しようとする場合は、事前に大臣に届け出る必要がありますので、外来生物対策室までお問い合わせください。

## 外来種被害予防3原則

～侵略的外来種による被害を予防するために～

### ① 入れない

悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「**入れない**」

### ② 捨てない

(逃がさない・放さない・逸出させないことを含む)  
飼養・栽培している外来種を適切に管理し「**捨てない**」

### ③ 拡げない

(増やさないことを含む)  
既に野外にいる外来種を他地域に「**拡げない**」

外来種は人間生活と密接にかかわりを持っていることが多く、その問題は日常生活に密着した問題であるため、国民の皆様一人一人のご理解と、適切な対応が求められています。外来種に関わる際には、この3原則を心にとめ行動することが重要です。

## お問い合わせ先

【成田国際空港】 成田自然保護官事務所 TEL: 0476-32-9072  
【中部国際空港】 中部地方環境事務所 TEL: 052-955-2139  
【関西国際空港】 近畿地方環境事務所 TEL: 06-4792-0706  
【福岡空港】 九州地方環境事務所 TEL: 096-322-2413

## 〈 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室 〉

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2  
TEL: 03-5521-8344 FAX: 03-3581-7090

外来生物対策室ホームページ

日本の外来種対策



<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

令和2年11月2日改訂

# 外 来 生 物 法

## 外来生物の 輸入に ご注意ください



チュウゴクモクスガニ(上海ガニ)



ウシガエル



ウチダザリガニ

環境省・農林水産省

# 以下の外来生物の輸入は法律により規制されています

- 外来生物法では、もともと日本に生息・生育していない生物(外来生物)のうち、生態系などへ被害を及ぼし、もしくは及ぼすおそれがあるものを「**特定外来生物**」、生態系などへ被害を及ぼすかどうか未判定のものを「**未判定外来生物**」、特定外来生物・未判定外来生物とよく似ている生物を「**種類名証明書の添付が必要な生物**」に指定しています。

- これらの生物を輸入できる場所は、成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港に限られています。
- 違法に輸入した場合、最高で3年以下の懲役又は300万円以下の罰金(法人の場合は1億円以下の罰金)が科されます。



セイヨウオオマルハナバチ



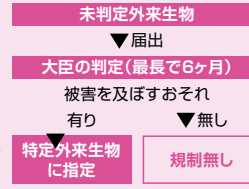
テナガコガネ属

## 特定外来生物

- 輸入、飼育・栽培・保管・運搬、販売・譲渡、放出などが原則禁止
- 学術研究などの目的で適正に管理できる施設を有している場合は飼養等の許可を受けることができる
- 輸入する者は飼養等の許可を有していることが必要で、税関で許可証と輸出国の政府機関等が発行する種類名を証明する書類を提出することが必要

## 未判定外来生物

- 輸入する場合は事前に主務大臣に届出が必要
- 届出後の主務大臣の判定の結果、被害を及ぼすおそれのある生物は特定外来生物に指定
- 届出後の主務大臣の判定の結果、被害を及ぼすおそれがないとされたものでなければ輸入できない



## 種類名証明書の添付が必要な生物

- 特定外来生物や未判定外来生物と外見が似ている生物を指定
- 輸入するためには、輸出国の政府機関等が発行する種類名を証明する書類を税関に提出することが必要
- 種類名証明書には、種の学名と数量が記載されていることが必要

ほ乳類	フクロギツネ、ハリネズミ属、タイワンザル、カニクイザル、アカゲザル、ヌートリア、クリハラリス(タイワンリス)、フィレンツェリス、タイリクモモンガ(エゾモモンガを除く)、トウハイイロリス、キタリス(エリスを除く)、マスカラット、カニクイライグマ、アライグマ、アムルカミンク、フイリマンダース、ジャワマンダース、シママンダース、アキシシジカ属、シカ属(ホンシュウジカ、ケラマシカ、マゲシカ、キュウシュウジカ、ツシマジカ、ヤクシカ、エシカを除く)、ダマシカ属、シフゾウ、キョウ、タイワンザル × ニホンザル、アカゲザル × ニホンザル	オオッサム属、クスクス科、アフリカハリネズミ属(ヨソコハリネズミを除く)、オオミハリネズミ属、メセキヌス属、マカカ属(ニホンザルを除く)、ハイガシラリス属、リス属(ニホンリスを除く)、イタチ属(オコシヨ、ニホンイタチ、イイスナ、フェレット、チョウセンイタチを除く)、マンガース科(スリカタ属を除く)、ホエジカ属、マカカ属に属する種間の交雑により生じた生物 ※特定外来生物を除く	オオッサム科、クスクス科、アフリカハリネズミ属、ハリネズミ属、オオミハリネズミ属、メセキヌス属、マカカ属、バカ科、フチア科、バカラナ科、ヌートリア科、リス科、マスカラット属、アライグマ属、イタチ属、マンダース科、アキシシジカ属、シカ属、ダマシカ属、シフゾウ、ホエジカ属、マカカ属に属する種間の交雑により生じた生物
鳥類	カナダガン、ガビチョウ、カオグロガビチョウ、カオジロガビチョウ、ソウシチョウ、シリアヒヨドリ、ヒゲガビチョウ	ブラントラ属(シジュウカラガン、ヒメシジュウカラガン、コクガンを除く)、チメドリ科 ※特定外来生物を除く	ブラントラ属、チメドリ科、シロガシラ属全種
爬虫類	カミツキガメ、ハナガメ、スウィンホーキーノボルトカガ、アノリス・アルログス、アノリス・アルタケウス、アノリス・アングステイケウス、グリーンアノール、ナイトアノール、ガーマンアノール、アノリス・ホモレキス、ブラウンアノール、ミドリオオガシラ、イヌバオオガシラ、マングロープヘビ、ミナミオオガシラ、ポウシオオガシラ、タイワンシジオ、タイワンハブ、ハナガメ × ニホンシジガメ、ハナガメ × ミナミシジガメ、ハナガメ × クサガメ	アノール属、ノロプス属、オオガシラ属、スジオナメラ(サキシマシジオを除く)、ハブ属(サキシマハブ、ハブ、トカラハブ) ※特定外来生物を除く	カミツキガメ科、イシガメ属、スウィンホーキーノボルトカガ、アノール属、ノロプス属、オオガシラ属、チャマダラヘビ属、スジオナメラ、ポウシヤナメラ、ヤシロハブ属、ハブ属、ハナガメ × イシガメ科に属する他の種間の交雑により生じた生物
両生類	ブレーズヒキガエル、キンイロヒキガエル、オオヒキガエル、ヘリグロヒキガエル、アカボシヒキガエル、オウチヒキガエル、テキサスヒキガエル、コノヒキガエル、キューバズツキガエル(キューバアマガエル)、コキーコヤスガエル、ジョンストンコヤスガエル、オンシツガエル、アジアジムグリガエル、ウシガエル、シロアゴガエル	ヒキガエル属(ニホンヒキガエル、ミヤコヒキガエル、ナガレヒキガエル、テキサスミドリヒキガエル、ロココヒキガエル、ナンブヒキガエル、ガルフコーストヒキガエル、ヨーロップ(ミドリヒキガエルを除く)、ズツキガエル属、ブロンズガエル、プタゴエガエル、リバーフロッグ、フロリダボッグフロッグ、ミンクフロッグ、カーバンターフロッグ、シロアゴガエル属 ※特定外来生物を除く	ヒキガエル属、ズツキガエル属、コヤスガエル属、アジアジムグリガエル、ウシガエル、ブロンズガエル、プタゴエガエル、リバーフロッグ、フロリダボッグフロッグ、ミンクフロッグ、カーバンターフロッグ、シロアゴガエル属 ※ただし、幼生についてはカエル目全種
魚類	ガー科全種、ガー科に属する種間の交雑により生じた生物、オオタナゴ、コウライギギ、ブラウンブルヘッド、チャネルキャットフィッシュ、フラットヘッドキャットフィッシュ、ヨーロップナマズ(ヨーロップオオナマズ)、カワカマス科、カワカマス科に属する種間の交雑により生じた生物、カダヤシ、ガンブスィア・ホルブプロオキ、ブルーギル、コクチバス、オオクチバス、ラウンドゴビー、ナイルパーチ、ホワイトパーチ、ホワイトバス、ストライプバス、ホワイトバス × ストライプバス(サンシャインバス)、ラッフ、ヨーロピアンパーチ、バイクパーチ、ケツギョ、コウライケツギョ	アメイルス属、イクトルルス属、サンフィッシュ科、モロネ科、ガトプスィス属、マクルケラ属(マーレーコードを除く)、マクアリア属(ゴールデンパーチを除く)、ベルキケテウス属、ギムノケファルス属、ベルカ属、サンデル属、ズィンゲル属、ケツギョ属、モロネ科に属する種間の交雑により生じた生物 ※特定外来生物を除く	ガー科全種、ガー科に属する種間の交雑により生じた生物、タナゴ属、ギバチ属、アメイルス属、イクトルルス属、フラットヘッドキャットフィッシュ、ナマズ属、カワカマス科、カワカマス科に属する種間の交雑により生じた生物、カダヤシ、ガンブスィア・ホルブプロオキ、サンフィッシュ科、ネオゴビウス属、アカメ科、モロネ科、モロネ科に属する種間の交雑により生じた生物、ナンダス科、ガトプスィス属、マクルケラ属、マクアリア属、ベルキケテウス属、ギムノケファルス属、ベルカ属、サンデル属、ズィンゲル属、ケツギョ属
昆虫類	アカボシゴマダラ(アカボシゴマダラ奄美亜種を除く)、クビアカツヤカミキリ、アングラトウスマルバネクワガタ、バラデバマルバネクワガタ、ギガテウスマルバネクワガタ、カツラマルバネクワガタ、マエダマルバネクワガタ、マキムシマルバネクワガタ、ベラルマトゥスマルバネクワガタ、サンダーズマルバネクワガタ、タナカマルバネクワガタ、ウォーターハウスマルバネクワガタ、テナガコガネ属(ヤンバルテナガコガネを除く)、クモテナガコガネ属、ヒメテナガコガネ属、セイヨウオオマルハナバチ、ハヤトゲフシアリ、アルゼンチンアリ、ソレノプスィス・グミナタ種群、ソレノプスィス・サエヴィス種群、ソレノプスィス・ストリデンス種群、ソレノプスィス・ヴィルレンス種群、上記4種群に属する種間の交雑により生じた生物、コカミアリ、ツマアカスズメバチ	マルハナバチ属(在来(亜)種及び特定外来生物を除く)	アカボシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、ムネアカセンコガネ科、マンマルコガネ科、ホソマクソクワガタ科、センコガネ科、ヒゲフトハナムグリ科、ニセコブスジコガネ科、アツバコガネ科、クワガタムシ科、アカマダラセンコガネ科、クワツヤムシ科、フユセンコガネ科、コガネムシ科、コブスジコガネ科、マルハナバチ属、ハヤトゲフシアリ、アルゼンチンアリ、トフシアリ属、コカミアリ、スズメバチ属
甲殻類	ディケロガンマルス・ヴィルロス、ザリガニ科全種、アメリカザリガニ科全種(アメリカザリガニを除く)、アジアザリガニ科全種(ニホンザリガニを除く)、ミナミザリガニ科全種、モクスガニ属(モクスガニ、オガサワラモクスガニを除く)	ディケロガンマルス属の全種 ※特定外来生物を除く	ディケロガンマルス属、ザリガニ科、アメリカザリガニ科、アジアザリガニ科、ミナミザリガニ科、モクスガニ属
クモ・サソリ類	キョウトウサソリ科全種、アトラクス属、ハドロニューク属、ロクソスケレス・ガウコ、ロクソスケレス・ラエタ、ロクソスケレス・レクルサ、コケモ属(アカオビコケモを除く)	無し	アトラクス属、ハドロニューク属、イトグモ属、コケモ属
軟体動物等	カワバリガイ属、クワツガイ、カワホトギスガイ、ヤマヒタチオビ(オカヒタチオビ)、ニューギニアヤリガタリクウスムシ	ハプロトレマティダエ科、オレアキニダエ科、ヌリツヤマイマイ科、スピラクスィダエ科、ネジレガイ科(ソメケタワラガイ、コメツブタワラガイ、ツヤタワラガイ、タワラガイ、ミヤコダワラガイ、ヨナニダワラガイを除く)、オカチヨウジガイ科(マルオカチヨウジガイ、オカチヨウジガイ、オオオカチヨウジガイ、ユウドウオカチヨウジガイ、トクサオカチヨウジガイ)、シリプトオカチヨウジガイ、ホソオカチヨウジガイ、サツマオカチヨウジガイ、オオヒキレガイ、オカチキレガイを除く ※特定外来生物を除く	カワバリガイ属、クワツガイ、カワホトギスガイ、ハプロトレマティダエ科、オレアキニダエ科、ヌリツヤマイマイ科、スピラクスィダエ科、ネジレガイ科、オカチヨウジガイ科、ニューギニアヤリガタリクウスムシ
植物	ナガエツルノゲイトウ、アラリチドメダサ、ボタンウキクサ(ウォーターラス)、アノラ・クリスタータ、オキネウキギク、ミスヒマリ、ツルヒヨドリ、オハシゴソウ、ナトサワキク、アレチウリ、ナガエモクセンゴケ、オオアサモリ(ハットフナー)、エフクダスキモ、トウリクリア・インフラタ、トウリクリア・アラテンシス、ルドウィギア・グランディアロラ、ピーチグラス、スリルティナ属、オオカバヂヤ	ヒュドコロティレ・ボナリエンシス、ヒュドコロティレ・ウンベルラタ	ツルノゲイトウ属、チドメダサ属、ボタンウキクサ、アカウキクサ属、ハルシャギク属、ミスヒマリ属、ツルギク属、オオハシゴソウ属、キオン属、アレチウリ属、モウセンゴケ属、フサモ属、タヌキモ属、チョウジタデ属、オオハマギヤ属、スリルティナ属、クワガタソウ属